

## 総合学力調査の概要

実施時期 **年度当初** 4月～6月 **学年末** 12月～3月

学年・教科	国語	算数/数学	英語	理科	社会	学習意識調査
小1	学年末	学年末				学年末
小2	年度当初 学年末	年度当初 学年末				年度当初 学年末
小3	年度当初 学年末	年度当初 学年末				年度当初 学年末
小4	年度当初 学年末	年度当初 学年末		年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末
小5	年度当初 学年末	年度当初 学年末		年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末
小6	年度当初 学年末	年度当初 学年末		年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末
中1	年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末
中2	年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末	年度当初 学年末
中3	年度当初	年度当初	年度当初	年度当初	年度当初	年度当初

※国語と英語には聞き取り問題があります。  
 ※問題は全国共通です。  
 ※調査問題・質問の著作権は弊社に属します。

出題範囲 **年度当初** 前学年で学習した内容まで **学年末** 現学年の10月末の学習内容まで

※学習の進捗によっては、未習事項が含まれる場合もあります。  
 ※学習指導要領に基づく調査となります。

実施時間 小学校 = 各教科40分 中学校 = 各教科45分 学習意識調査 = 40分

※上記は児童・生徒が解答・回答する時間です。問題冊子等の配付や回収・説明は実施時間には含まれておりません。  
 ※年度当初版の中1英語は35分となります。

価格 各学年1教科：410円(税込) 学習意識調査：410円(税込)

※Web分析システム「SYEN」のご利用も含まれます。

## お申込み～ご実施までの流れ (以下は最短のスケジュールの目安です。)

1. 実施日の約3週間前 <sup>※1</sup>	お申込み	4. 実施から約3日後	学校様から答案返送 ※ベネッセ指定の運送会社が集荷に伺います。
2. 実施日の約1週間前	学校様に問題用紙・実施の手引きなどをお届け	5. 答案受付から15営業日以降 <sup>※2</sup>	Web分析システム「SYEN」上に結果資料の公開
3. 調査実施当日	調査の実施	6. 答案受付から19営業日以降 <sup>※3</sup>	学校様に結果帳票(学年票・個人票)をご送付

※1 自治体単位でのお申し込みの場合は、2か月前までにお申し込みください。

※2, 3 ご返送の詳細なスケジュールについては、ご実施の時期や規模などによって調整させていただく場合があります。

## | 教育機関専用 | お申し込み・お問い合わせ先

NEW

2024年  
3月11日からWeb  
注文
<https://bso.benesse.ne.jp>

教育情報オンライン

検索

電話 0120-8888-44

通話料  
無料

※受付時間9:00～17:00(土・日・祝日・お盆期間・年末年始を除く)  
 ※一部のIP電話からは082-512-0533へおかけください。  
 (ただし通話料がかかります)

FAX 0120-8803-39

送付料  
無料

※左記番号に接続できない通信機器・回線の場合は086-235-2258  
 へおかけください。(ただし送付料がかかります)

e-mail school@mail.benesse.co.jp

地域とともに小中学校教育の未来をデザインする

教育情報ONLINE

<https://teacher.ne.jp>

※2024年2月22日以降URLが「https://bso.benesse.ne.jp」に変更となります。



株式会社ベネッセコーポレーション

〒163-0415 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング

※この冊子は2023年12月現在の情報をもとにしています。  
 ※ここでご紹介した名称・デザイン・内容などは予告なく変更  
 になる場合があります。

# 総合学力調査の ご案内



教科学力と学習意識の客観的調査・  
分析から学力向上のサイクルが  
始まります。

小学校・中学校

目標準拠型評価

経年・全国比較

ベネッセの「総合学力調査」でできること

# 基礎力・活用力から生活面まで、学力向上のための現状把握と成果検証ができる調査です。

## 特長① 教科学力と行動の実態を多面的に把握。

学力向上に取り組むためには、現状を正確に把握することが欠かせません。ベネッセの総合学力調査では、「教科学力」だけでなく、その背景となる「学習意識」もあわせて把握することができます。

### 学習到達度調査

目標単元型の学習到達度調査で、教科学力をしっかり測定します。



学習指導要領に対応し、定着状況がしっかりわかる教科調査

各教科で身につけておきたい学習内容を基礎から応用までバランスよく出題。問題は毎回新作のため回収は行いませんので、問題冊子を使った事後復習指導も可能です。

### I R T を利用し到達度をスコア化

I R T とは項目反応理論と呼ばれるテスト設計の理論です。この理論を使って問題ごとの重みづけをあらかじめ設定し、児童・生徒の解答パターンから学力水準を示したのが到達スコアです。到達スコアは学年間の学力を比較したり、経年の推移を見たりする際の目安となります。

### 学習意識調査

ベネッセ教育総合研究所での長年の調査をもとに、学力と相関の高い項目を厳選しています。

### 最新の教育動向もふまえ、問題を提供します。

調査問題は最新の動向をふまえて毎年改定しています。

さやかんさんのクラスでは、字のうしろ1辺が50cmの正方形の厚紙を使って、教室の学習机の裏面に正方形の厚紙を貼りました。ただし、はりつけるのりしろの長さや厚紙の厚さは考えないものとします。

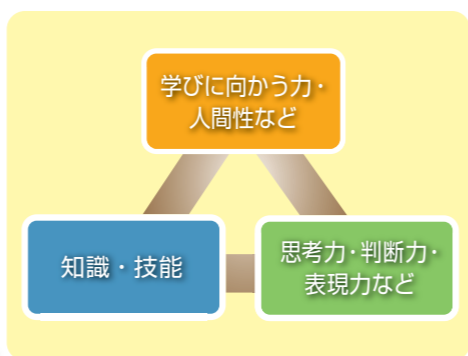
この正方形の厚紙の厚紙を、合同な正方形を切り取り、箱を作ることができます。

(1) さやかんは、右の図のように、厚紙の四角から1辺15cmの正方形を切り取って、箱を作りました。この箱の容積を求め、正しいはどれですか。次の1~4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけましょう。

1 15 × 15 × 4    2 20 × 20 × 15  
3 20 × 20 × 20    4 20 × 20 × 50

(2) さやかんは、右の図のように、厚紙の四角から1辺15cmの正方形を切り取って、箱を作りました。この箱の容積を求め、正しいはどれですか。次の1~4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけましょう。

1 15 × 15 × 4    2 20 × 20 × 15  
3 20 × 20 × 20    4 20 × 20 × 50



学習指導要領でポイントとなる点も取り入れた問題設計を行っています。

## 特長② 結果はWebと紙帳票でわかりやすくお届け。

Web分析システム「SYEN」で、全国や過年度と比較して成果や課題を確認！



★Web上で簡単に分析可能。  
★最大9年間の学力を継続的に確認できます。

STEP 1 抽出条件を指定して学校内の個人一覧を表示し、児童生徒ごとの教科/単元を確認していきます。

STEP 2 設定項目の正答率や解題率の一覧から、観測する設問を選択して該当分析

大類	小類	設問	1級	全国	中心	高校	学年	学年	学年
1	1	ア	100.0	94.5	100.0	100.0	5.5	0.0	
1	1	イ	100.0	96.6	100.0	100.0	3.4	0.0	
1	2	ア	28.6	38.7	58.8	28.6	-10.1	-10.2	
1	2	イ	28.6	22.8	47.1	28.6	3.8	-18.5	
2	1		57.1	63.3	76.5	57.1	-4.2	-19.4	

画面にしたがって操作することで、簡単に分析できます。

膨大な結果データもWeb分析システム「SYEN」なら画面の流れにしたがって簡単に分析が行えます。属性（学年・学級・個人）や設問（観点・領域・単元）ごとのデータから成果と課題を特定できます。

全体の傾向がつかめる「学年票」は学校に紙帳票でお届け。指導方針が立てやすくなります。

2020年度1学期 豊田A中学校 3年

教科総合(平均正答率) / 母集団との比較

教科	基礎	応用	総合
国語	61.2	60.5	0.7
数学	56.7	54.4	2.3
英語	56.9	56.8	0.1
社会	65.1	65.7	-0.6
理科	61.2	61.4	-0.2

各教科の傾向がつかみやすいように正答率の分布グラフが示されます。

# 問題設計について

つまずきの原因を特定できる選択肢設定など、きめ細かい設計の教科問題。加えて知識・技能と思考力・判断力・表現力を一体的に問う問題も出題しています。

## 学力の伸長が見えるテスト設計

毎年新しい問題で、過年度比較が可能です！

すべての設問について事前調査（プレテスト）を実施し、問題ごとの重みづけをあらかじめ設定しています。項目反応理論（IRT）を使ったノウハウで、毎回新作の問題でありながら経年の推移を見る事が可能です。

### 経年の推移が見られる



## つまずきのポイントがわかる誤答類型分析

解答を類型分けしているのので、誤りの傾向がわかります。



誤答ごとに「なぜそれを選択したと考えられるか」「どこにつまずいているのか」がわかる類型メッセージを示します。

## 知識・技能と思考力・判断力・表現力を一体的に問う問題

知識・技能と思考力・判断力・表現力を一体的に問う問題を出題します。

身につけた学習内容（知識・技能）を複合的に使って解く問題を、全学年・全教科で出題。活用問題はおもに記述式とし、つまずきのポイントを明らかにする誤答類型の分析もできるように設計しています。

### 問題の例 (小6算数)

あかねさんとみゆきさんはパンを買いに来ました。

ミニクリームパン	メロンパン	焼きそばパン
100円	120円	160円

このお店では、次のように特売の日があります。(消費税は考えないものとします。)

**月曜日 全部 20%引き!**  
**水曜日 全部 100円!**

今日は水曜日です。ミニクリームパン、メロンパン、焼きそばパンを売っていました。

あかね: 今日の特売の日だね。どのパンを買いますか?  
みゆき: 水曜日に買うのがいちばんお得になるようなパンを買いたいなあ。

(2) 月曜日より水曜日に買うほうがお得なパンはどれですか。パンの名前と、そのお値段を、ミニクリームパン、メロンパン、焼きそばパンそれぞれの月曜日と水曜日の値段を比べて説明しましょう。

### ベネッセの工夫

算数では、パンを購入するなどの日常生活の場面設定で、課題を解決する問題を提供。与えられた情報を読み取り、学んだことを生かして、きちんと説明できるかを測定します。

### 問題の例 (中2英語)

あるレストランのランチメニューを見て、あとの問いに答えなさい。

**Enjoy Our Special Lunch !!**  
Lunch Time 11:00~14:00

**LUNCH MENU**  
EVERY DAY: Curry Set  
Monday and Tuesday: Pizza Set  
Wednesday, Thursday, and Friday: Hot dog Set

**LUNCH DRINK**  
How about a drink with your lunch?  
Tea / Milk / Orange juice / Apple juice  
ALL 100 yen

ALL 500 yen  
With soup and salad

(1) What can you eat on Mondays?  
1 Pizza Set and Hot dog Set.  
2 Curry Set and Hot dog Set.  
3 Curry Set and Pizza Set.  
4 Curry Set, Pizza Set, and Hot dog Set.

(2) You want one Pizza Set and one orange juice. How much is it?  
1 500 yen.  
2 600 yen.  
3 1000 yen.  
4 1200 yen.

### ベネッセの工夫

英語では、「海外で直面する日常場面」などでの英語の対応力を測る問題を出題。レストランのメニューを読み取るなど、生徒が学んだ英語を使い自分で課題解決できるかを測れるようになっています。

## 子どもたちの実態を明らかにする学習意識調査

学習意識調査で、児童・生徒の生活・行動・意識も把握できます。

※自治体様でお申し込みの場合は、自治体様独自の「オリジナル質問項目」も盛り込めます。

ベネッセ教育総合研究所の調査にもとづいて教科学力と相関が高い質問項目を厳選。質問は大きく分類すると以下の4つの視点から成り、視点の各要素ごとに学力との関係を見ることができます。

- 学びの基礎力・・・豊かな基礎体験、学びに向かう力 など
- 社会的実践力・・・問題解決力、自己成長力 など
- 学級力・・・対話力、協調力 など
- 家庭学習力・・・家庭学習の環境や習慣について

※学習意識調査と学力の関係は、Web分析システム「SYEN」でご確認いただけます。

質問番号	質問内容	全国	貴校	A層	B層	C層	D層	A1層との差
1	学びの基礎力 豊かな基礎体験 社会実践力	61.0	69.3	82.0	70.3	55.7	35.8	46.2
2	問題解決力	67.8	61.9	5.9	75.0	65.6	81.5	48.0
3	学級力 対話力	85.4	82.6	2.8	85.6	96.7	77.7	81.4
4	家庭学習力	80.7	87.4	-6.7	89.3	88.9	81.5	63.0

※ここでご紹介したデザイン・内容・名称・出題内容などは予告なく変更になる場合があります。

## 結果資料のご活用の流れ



過年度の結果データとの比較も可能  
Web分析システム「SYEN」



「こんな分析がしたい!」をもとに、分析種類ごとに分析ステップを設定し、直感的に操作でき、見たい資料がすぐに検索できます。また、役職・分掌ごとに分析メニューを設けていますので、役職・分掌に応じて、必要なデータを簡単に閲覧できます。

**STEP 2** 他の結果データと比較することで、自分の強み・弱みをより明確にやすくなります。各項目を構成しているの正答率や傾向を参考に、注目する問題を選択して割合分析をすることができます。

※比較対象が複数ある場合は、各項目を構成するチェックボックスは表示されません。

※比較対象が複数ある場合は、各項目を構成するチェックボックスは表示されません。

※他のサイトと共有する場合は、必ず各ポイントセンターとその項目に関する説明を添付し、掲載が承認されます。

※小学生・中学生・高校生・社会人・その他

学年	国語	算数	英語	社会	理科	合計
1年	56.6 C	70.1 A	36.6 D	40.0 D	37.6 D	46.3
2年	60.0 B	69.3 A	75.1 A	81.8 A	78.5 A	73.9
3年	42.8 D	56.8 C	52.3 D	53.1 D	54.2 D	51.9
4年	55.1 C	55.1 C	56.1 D	72.9 B	63.2 C	60.5
5年	44.6 D	22.2 D	58.4 C	43.7 D	62.4 D	47.8
6年	73.9 A	74.9 A	72.8 B	66.7 B	72.1 B	71.1

**ポイント!**

実施結果のデータを蓄積することで、過年度データとの比較や、推移の確認などが行えます。過年度の結果と比較することで、学力の伸長や積み残した課題の確認、学力向上施策の検証ができます。

※実施初年度は、過年度のデータ蓄積がないため、この機能は使えませんので、ご注意ください。

観点・領域だけではなく、具体的な単元ごとの分析ができます。

個人の学力の状況も、詳しく分析できます。

個人や学級について詳しく分析したいときは、ダウンロードして印刷できます。

学年の課題が一目でわかる  
学年票

膨大な結果数値から、特に注目すべきポイントに絞って、学年ごとに1枚の資料に集約。学年の課題・特徴が一目で把握できます。



各教科の傾向がつかみやすいように正答率の分布グラフが示されます。

個人の課題が一目でわかる  
個人票

内容(単元)ごとの結果がわかり、児童・生徒は自分の得意・苦手が把握できます。裏面には○×のついた答案のスクリーンショットが掲載され、非回収の問題冊子とともに振り返り学習に役立てることができます。

※小学校低学年は問題用紙に答案を直接書き込む形になっているので、問題冊子を回収いたしますが、個人票の裏面にスクリーンショットとして表示されますので、それを見ながらの振り返りが可能になっています。※本調査では、個人情報保護の観点から、氏名は印字されず、学校名、年、組、番号のみの印字となります。

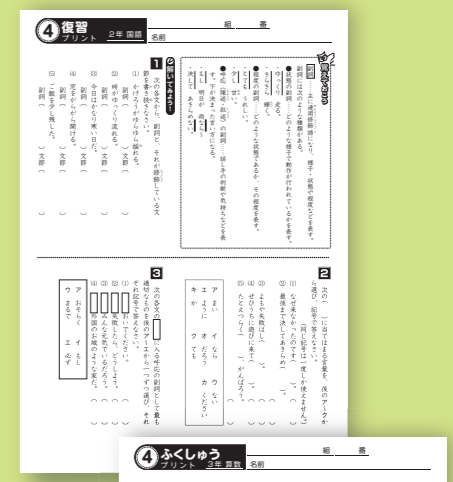


内容(単元)別の結果がわかり、児童・生徒自身の得意・苦手を把握できます。

児童・生徒の解答のそばに○×が示され、復習しやすくなっています。

児童・生徒の一人ひとりの弱点を補強する  
復習プリント

児童・生徒一人ひとりのつまづいた問題に応じた、復習プリントを、Web分析システム「SYEN」から出力できます。プリントには児童・生徒の学年・組・番号が記載されています。



穴埋めや短答式の問題を多く取り入れ、児童・生徒が自ら復習できるようになっています。